

取扱説明書

RIX-3611 RIX-2311

このたびは、ミキサーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
組込みご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、後日わからないことがあれば再びご覧ください。なお、組込み設置に際し、ラックシステム取扱説明書及び設置・工事マニュアルも合わせてご覧ください。

- 本機はユニバックスラックシステム組込用のミキサーユニットです。
- ラック組込み方法は、EIAサイズラックの取扱説明書をご覧ください。
- 本機で消費する制御電源電流は18mAです。(オプション RK-X1で使用時は48mA)
- 本機の標準的な組合せに対応した別売の各種接続用コードがあります。

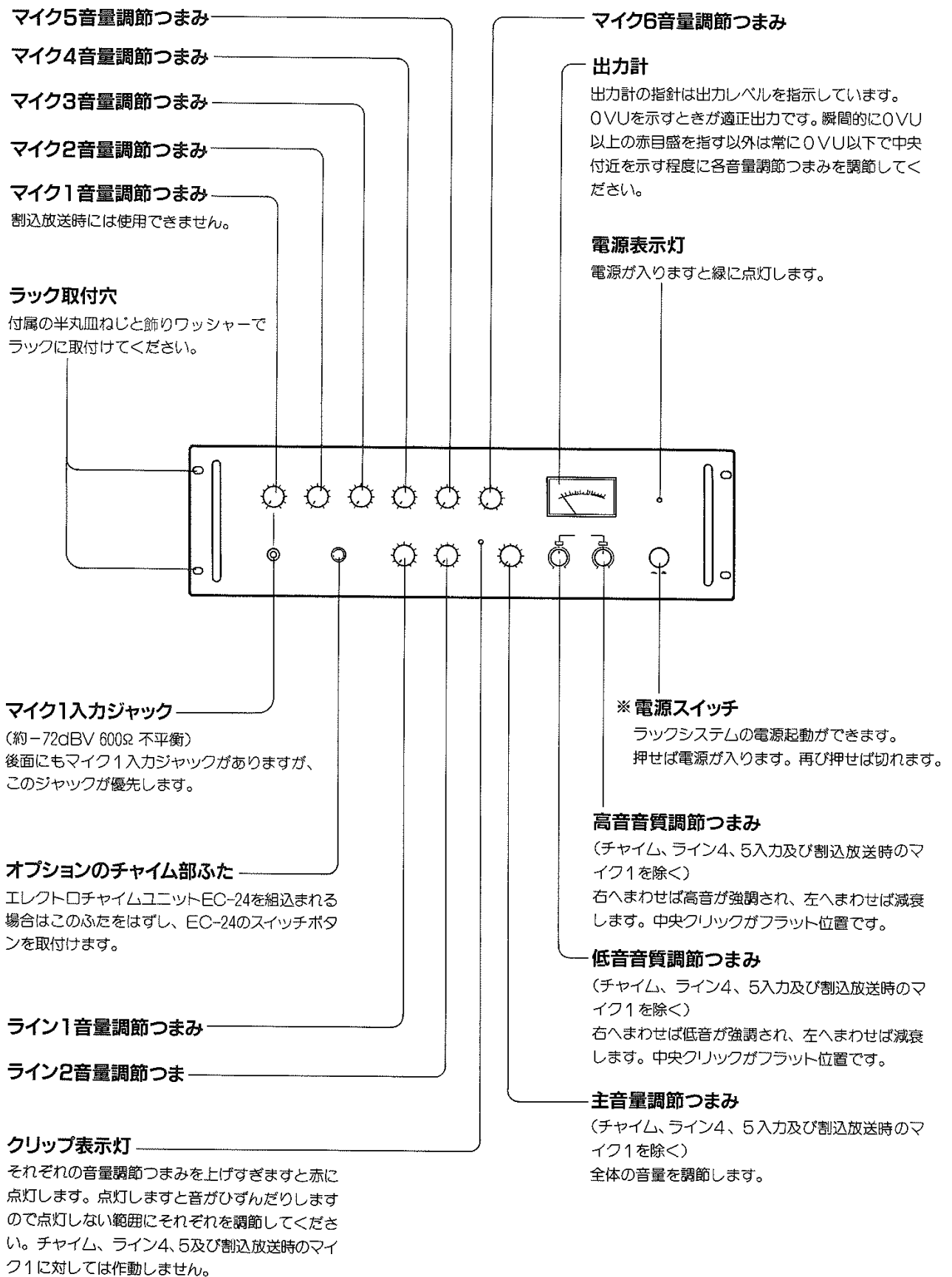
目次

使用上のご注意	1
RIX-3611 各部の名称と説明 (前面)	2
RIX-3611 各部の名称と説明 (後面)	3
RIX-2311 各部の名称と説明 (前面)	4
RIX-2311 各部の名称と説明 (後面)	5
本機の動作	6
各種の機能	6~7
オプションの取付や各種調整のしかた	
[平衡トランスLT-16の取付けかた]	7~9
[マイク入力の入力感度の変更のしかた]	10
[録音出力レベルの変更のしかた]	11
[ライン1入力をレコード入力に変更のしかた]	11
[各半固定音量調節のしかた]	12
[減衰回路の使用のしかた]	13
[オートフェーダーの調整のしかた]	14
[エレフトロチャイムEC-24の取付けかた]	14
[*ミキサー制御板RK-X1の取付けかた]	15
各コネクターのピン番号と機能	16
相互接続図	17
別売接続コードの説明	18
RIX-3611 定格/外観寸法図	19
RIX-2311 定格/外観寸法図	20

使用上のご注意

- 本機はユニバックスラックシステム組込用ですから、規定の接続をされない場合、動作しない部分があります。
(※印で表示)
- 本機のラックへの取付け位置(高さ)は、電源コードにより制約があります。AC電源ユニットRIP-2A31、RIP-2A51とミキサーユニットの間は、最大18Uあげられます。(ただし、配線方法により変動しますのでご注意ください。)
- 付属の機器受金具は必ず使用してください。

RIX-3611 各部の名称と説明(前面)



R1X-3611 各部の名称と説明(後面)

※ [JC1] 制御用コネクター

D型スピーカースイッチユニットRIS-D101の [JC5] またはR型スピーカースイッチユニットRIS-R101の [JC6]と接続します。
(別売コードVU-2/3)

※ [JC2] 制御用コネクター

AC電源制御ユニットRIP-2A31またはRIP-2A51の [JC5]と接続します。
(別売コードVU-3/9、VU-3/19、VU-3/25)

ACヒューズ(0.5A)

サービスコンセント

(本機の電源スイッチと連動)
AC100V最大50W以下の音響製品の接続にご利用ください。

[JC4] AC電源接続器

付属の電源コードでAC電源制御ユニットRIP-2A31またはRIP-2A51のACコンセントのいずれかと接続します。
(直接、AC100Vコンセントに接続されますと、スイッチ機構がありませんのでご注意ください。)

[JC3] DC電源接続コネクター

DC24V直流電源でも使用できます。ただし、スイッチ機構がありませんのでご注意ください。

[JP17] [JP18] ライン出力ジャック

(0dBV 600Ω 平衡 並列2回路)
別売のユニット間接続用コードVU-1/22 またはVU-1/5で電力増幅ユニットRIA-3241、RIA-2121などの [JP1]あるいは [JP2]と接続します。
2回路合計で本システム用の電力増幅ユニットが12台まで接続できます。

[JP16] 録音出力ジャック

(0dBV 600Ω 不平衡)
録音されるテープデッキを接続します。レベルを-10dBVに変更できます。
(チャイム、ライン4、5と割込放送信号は録音できません。)

※ [JP15] ライン5入力ジャック

(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
電話ベーキングやリモコン(RM-11、RM-15)などを接続します。(半固定音量調節器内蔵)

[JP7] ミキサー入力ジャック

(約-2dBV 600Ω 平衡)
マイクミキサーMX-712等を接続します。
(半固定音量調節器内蔵)

[JP6] マイク6入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)

[JP5] マイク5入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)

[JP4] マイク4入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)

[JP3] マイク3入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)

[JP2] マイク2入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)

[JP1] マイク1入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)
前面のマイク1入力ジャックが優先します。

アースねじ

ライン1入力ピンジャックに接続された機器をアースしてください。

[JP8] [JP9] ライン1入力ピンジャック

(約-22dBV 50kΩ 不平衡)
ステレオCDやステレオテープレコーダー等を接続します。

[JP10] ライン2入力ジャック

(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
テープレコーダーやBGM等を接続します。

[JP11] ライン3入力ジャック

(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
テープレコーダーやBGM等を接続します。
(半固定音量調節器内蔵)

[JP12] 予備入力ジャック

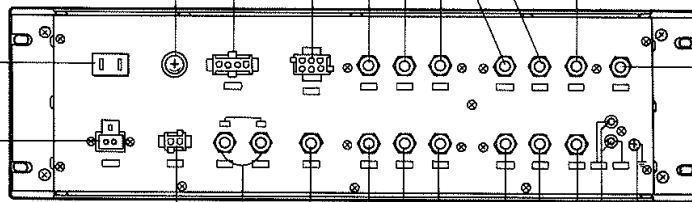
(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
テープレコーダーやBGM等を接続します。
(半固定音量調節器内蔵)

※ [JP13] チャイム入力ジャック

(約-32dBV 10kΩ 不平衡)
ミュージックチャイムMZ-1201等を接続します。
(半固定音量調節器内蔵)

※ [JP14] ライン4入力ジャック

(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
電話ベーキングやリモコン(RM-11、RM-15)等を接続します。(半固定音量調節器内蔵)



RIX-2311 各部の名称と説明(前面)

マイク3音量調節つまみ

マイク2音量調節つまみ

マイク1音量調節つまみ

割込放送時には使用できません。

ラック取付穴

付属の半丸皿ねじと飾りワッシャーでラックに取付けてください。

マイク1入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)

後面にもマイク1入力ジャックがありますがこのジャックが優先します。

オプションのチャイム部ふた

エレクトロチャイムEC-24を組込まれる場合はこのふたをはずし、EC-24のスイッチボタンを取付けます。

ライン1音量調節つまみ

ライン2音量調節つまみ

出力計

出力計の指針は出力レベルを指示しています。0VUを示すときが適正出力です。瞬間的に0VU以上の赤目盛を指す以外は常に0VU以下で中央付近を示す程度に各音量調節つまみを調節してください。

電源表示灯

電源が入りますと緑に点灯します。

※ 電源スイッチ

ラックシステムの電源起動ができます。押せば電源が入ります。再び押せば切れます。

高音音質調節つまみ

(チャイム、ライン4,5入力及び割込放送時のマイク1を除く)

右へまわせば高音が強調され、左へまわせば減衰します。中央クリックがフラット位置です。

低音音質調節つまみ

(チャイム、ライン4,5入力及び割込放送時のマイク1を除く)

右へまわせば低音が強調され、左へまわせば減衰します。中央クリックがフラット位置です。

RIX-2311 各部の名称と説明(後面)

JC2 制御用コネクター

AC電源制御ユニットRIP-2A31またはRIP-2A51のJC5と接続します。(別売コードVU-3/9、VU-3/19、VU-3/25)

ACヒューズ(0.5A)

サービスコンセント

(本機の電源スイッチと連動)
AC100V最大50W以下の音響製品の接続にご利用ください。

JC4 AC電源接続器

付属の電源コードでAC電源制御ユニットRIP-2A31またはRIP-2A51のACコンセントのいずれかと接続します。(直接AC100Vコンセントに接続されると、スイッチ機構がありませんのでご注意ください。)

JC3 DC電源接続コネクター

DC24V直流電源でも使用できます。ただし、スイッチ機構がありませんのでご注意ください。

JP13 JP14 ライン出力ジャック

(0dBV 600Ω 平衡 並列2回路)
別売のユニット間接続用コードVU-1/22または、VU-1/5で電力増幅ユニットRIA-3241、RIA-2121などのJP1あるいはJP2と接続します。2回路合計で本システム用の電力増幅ユニットが12台まで接続できます。

JP12 録音出力ジャック

(0dBV 600Ω 不平衡)
録音されるテープデッキを接続します。レベルを-10dBVに変更できます。(チャイム、ライン4、5と割込放送信号は録音できません。)

JC1 制御用コネクター

D型スピーカースイッチユニットRIS-D101のJC5またはR型スピーカースイッチユニットRIS-R101のJC6と接続します。(別売コードVU-2/3)

JP4 ミキサー入力ジャック

(約-2dBV 600Ω 平衡)
マイクミキサーMX-712等を接続します。(半固定音量調節器内蔵)

JP3 マイク3入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)

JP2 マイク2入力ジャック

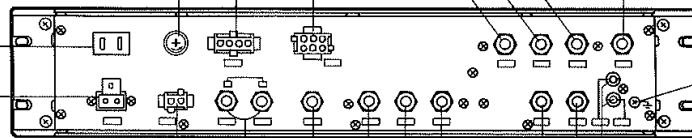
(約-72dBV 600Ω 不平衡)

JP1 マイク1入力ジャック

(約-72dBV 600Ω 不平衡)
前面のマイク1入力ジャックが優先します。

アースねじ

ライン1入力ピンジャックに接続された機器をアースしてください。



JP5 JP6 ライン1入力ピンジャック

(約-22dBV 50kΩ 不平衡)
ステレオCDやステレオテープレコーダー等を接続してください。

JP7 ライン2入力ジャック

(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
テープレコーダーやBGM等を接続します

JP8 ライン3入力ジャック

(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
テープレコーダーやBGM等を接続します(半固定音量調節器内蔵)

※ JP9 チャイム入力ジャック

(約-32dBV 10kΩ 不平衡)
ミュージックチャイムMZ-1201等を接続します。(半固定音量調節器内蔵)

※ JP10 ライン4入力ジャック

(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
電話ページングやリモコン(RM-11、RM-15)等を接続します。(半固定音量調節器内蔵)

※ JP11 ライン5入力ジャック

(約-22dBV 10kΩ 不平衡)
電話ページングやリモコン(RM-11、RM-15)等を接続します。(半固定音量調節器内蔵)

本機の動作

特徴

本機のマイク入力はRIX-3611は6回路、RIX-2311は3回路と、その他の入力(ライン系)はRIX-3611は8回路、RIX-2311は7回路を有し、ユニパックスラックシステム組込用に設計された多機能のミキサーユニットです。本機の電源スイッチで、システムの電源起動を行うほか、多くの機能を持った使いやすいものとなっています。

各種の機能

① 平衡型に変更できる入力回路 (平衡トランスLT-16が必要です)

- RIX-3611 マイク1～6、RIX-2311 マイク1～3
- ライン3 (ただし、10k Ω から600 Ω に変更になります)
- ライン4、5 (ただし、10k Ω から600 Ω に変更になります)
- チャイム (ただし、10k Ω から600 Ω に変更になります)

② 半固定音量調節器を有している入力回路

- ミキサー
- ライン3
- ライン4、5
- チャイム
- 予備 (RIX-2311にはありません)

③ マイクの入力感度を-72dBVから-62dBVに変更できます。

④ チャイム、ライン1、ライン2の信号を入力において減衰することができます。

- 減衰量 ●チャイム 約20dB
- ライン1 約12dB
- ライン2 約20dB

※ ⑤ チャイム、ライン4、ライン5は各々に対応した制御信号が入力されたときのみ動作します。

注1) 3入力まとめて入、切されます。(スピーカースイッチユニットRIS-R101、RIS-D101の取扱説明書参照)

注2) 本ユニットJC2をAC電源制御ユニットに接続し、DC24V制御電源の供給を受けることが必要です。

※ ⑥ 割込放送ができます。(そのときは、他の放送はカットされます)

- 入力カ: マイク1からライン5に限定
- 放送制御: 割込制御信号が必要です。(スピーカースイッチユニットRIS-R101、RIS-D101の取扱説明書参照)
- 音量調節: 別に専用半固定音量調節器内蔵(音質調節はできません)

⑦ ライン1～3及び予備(RIX-3611のみ)は、その他の入力信号(オプションのチャイムを含む)により、自動的に音量が減衰されます。

出荷時は、減衰量 約26dBに調整されていますが、変更することもできます。

⑧ 録音出力のレベルを0dBVから-10dBVに変更することができます。

⑨ ライン1入力を-55dBVのレコード入力に変更することができます。

⑩ エレクトロチャイムEC-24を組込むことができます。

※ ⑪ ミキサー制御基板 RK-X1を組込むことができます。

○⑤の関連事項

チャイム、ライン4、ライン5は、各々に対応した制御信号により、個別に入、切されます。

○⑦の関連事項

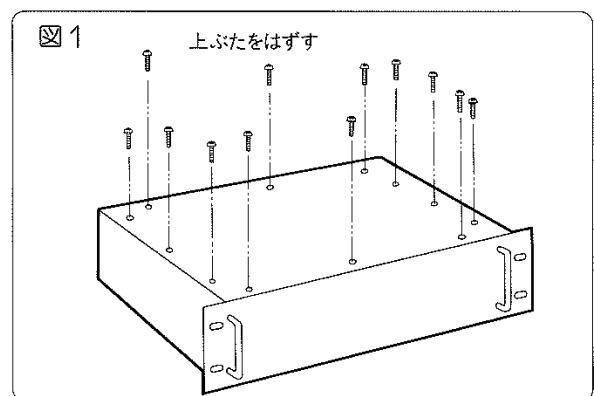
チャイム入力に関して、チャイム動作時にライン1、2、3、予備の信号が⑦の調整に関係なく、最大減衰となります。また、チャイム音終了後、約5秒で元の音量にもどります。(RK-X1の取扱説明書もご覧ください)

ご注意… 各種接続される機器のレベルをお調べになって、その機器に合った音量にあらかじめ設定してください。

オプションの取付や各種調整のしかた

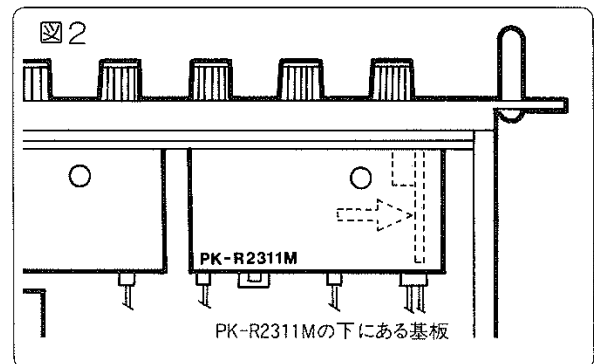
本機のふたのはずしかた

- 上ふたを止めているねじ12本をはずし、上ふたを取りはずしてください。(図1参照)

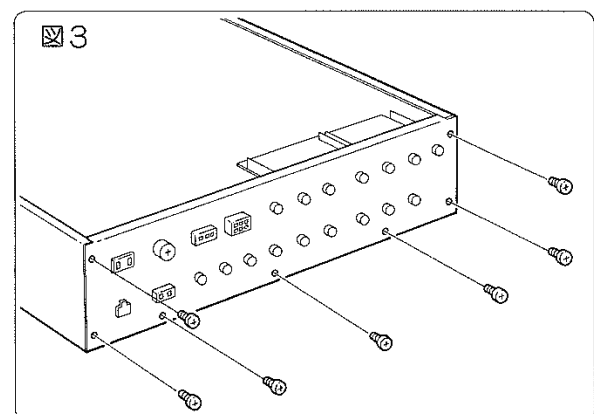


平衡トランスLT-16の取付かた

- 前面パネルのマイク1入力ジャックにLT-16を取付ける場合
 - ①基板PK-R2311MJのJ1とJ2のジャンパー線を取り除いてください。
 - ②図の矢印のように基板PK-R2311MJの平衡トランス取付穴にLT-16を差込み裏面よりハンダ付けを行ってください。(図2参照)
(取り除いたジャンパー線がトランスや他の金属物等に触れないようご注意ください。)



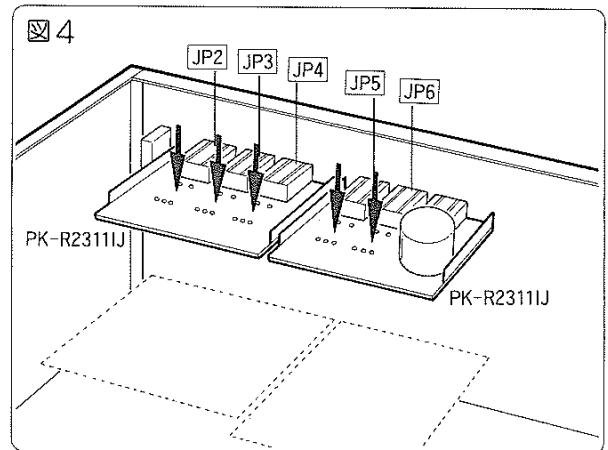
- その他の基板にLT-16を取付ける場合
 - 図のように7本のねじをはずし、後面シャーシを手前にはずしてください。(図3参照)



RIX-3611

JP2～JP6 各マイク入力ジャックにLT-16を取付ける場合

- ①基板PK-R2311JのそれぞれJ1、J2、J4、J5、J7、J8のジャンパー線を取り除いてください。(取り除いたジャンパー線がトランスや他の金属等に触れないようにご注意ください。)
- ②図4の矢印の方向に基板PK-R2311Jの平衡トランス取付穴にLT-16を差し込み、裏面よりハンダ付を行ってください。



JP11 ライン3入力ジャック、※JP13チャイム入力ジャック、※JP14ライン4入力ジャック、※JP15ライン5入力ジャックにLT-16を取付ける場合

- ①PK-R2311Lは、J3とJ4のジャンパー線を、PK-2311CMのJP13はJ1、J2、JP14はJ4、J5、JP15はJ7、J8のそれぞれのジャンパー線を取り除いてください。(取り除いたジャンパー線がトランスや他の金属物等に触れないようご注意ください。)
- ②図5の矢印の方向に基板PK-R2311Lと、基板PK-2311CMの平衡トランス取付穴にLT-16を差し込み、裏面よりハンダ付を行ってください。
- ③基板PK-R2311CM、PK-R2311Lのパターン面に図6、7の矢印の箇所をそれぞれハンダでつないでください。

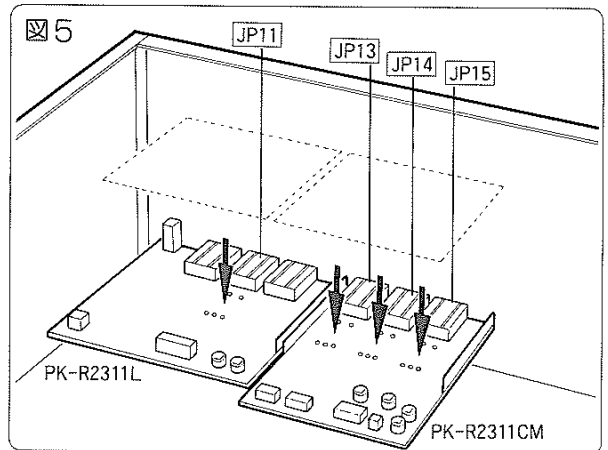
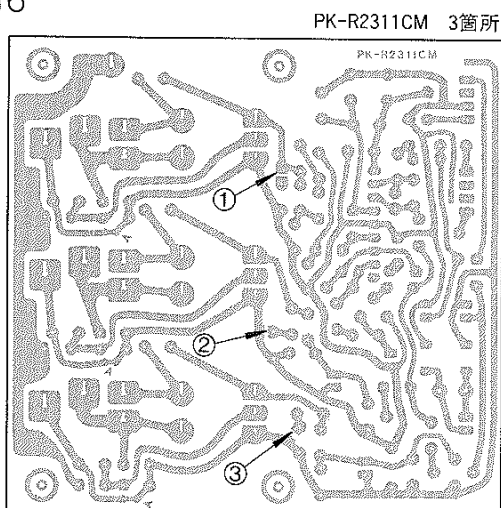
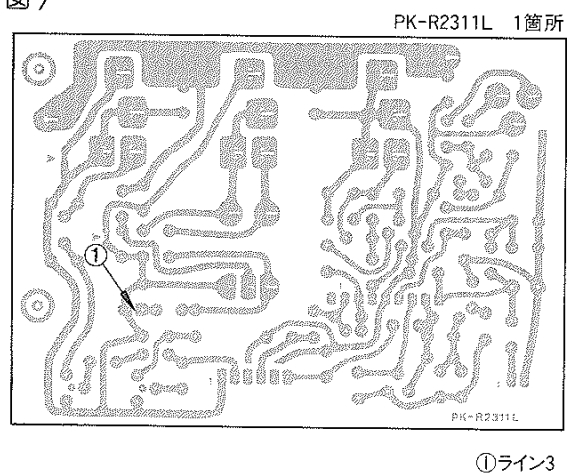


図6



- ①チャイム
- ②ライン4
- ③ライン5

図7

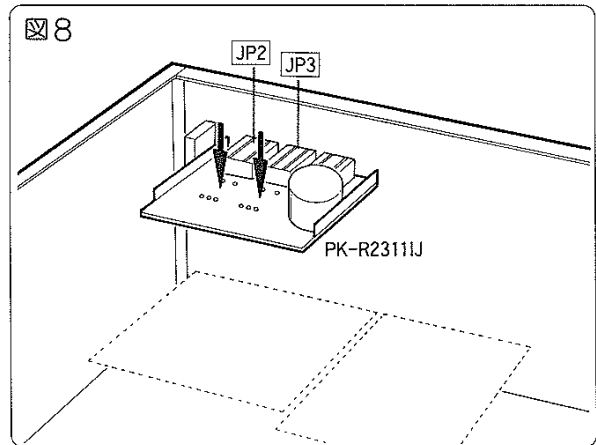


- ①ライン3

RIX-2311

JP2 JP3のマイク入力ジャックにLT-16を取付ける場合

- ①基板PK-R2311JのそれぞれJ1、J2、J4、J5のジャンパー線を取り除いてください。(取り除いたジャンパー線がトランスや他の金属物等に触れないようにご注意ください。)
- ②図8の矢印の方向に基板PK-R2311Jの平衡トランス取付穴にLT-16を差し込み裏面よりハンダ付けを行ってください。



JP8 ライン3入力ジャック、*JP9 チャイム入力ジャック、*JP10 ライン4入力ジャック、*JP11 ライン5入力ジャックにLT-16を取付ける場合。

- ①PK-R2311LはJ3とJ4のジャンパー線を、PK-R2311CMのJP9はJ1、J2、JP10はJ4、J5、JP11はJ7、J8のそれぞれのジャンパー線を取り除いてください。(取り除いたジャンパー線はトランスや他の金属物等に触れないようにご注意ください。)
- ②図9の矢印の方向に基板PK-R2311Lと基板PK-R2311CMの平衡トランス取付穴にLT-16を差し込み、裏面よりハンダ付けを行ってください。
- ③基板PK-R2311CM、PK-R2311Lのパターン面に図10、11の矢印の箇所をそれぞれハンダでつないでください。

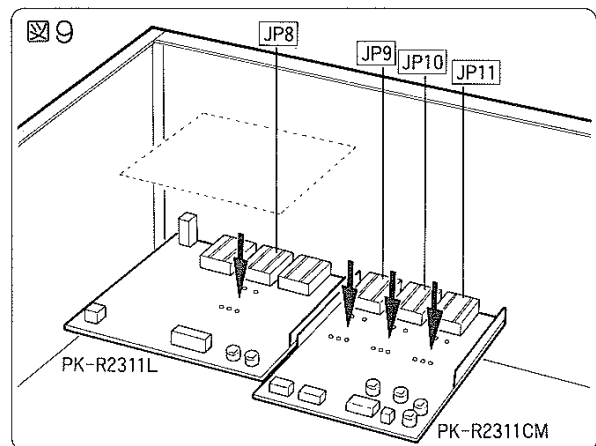
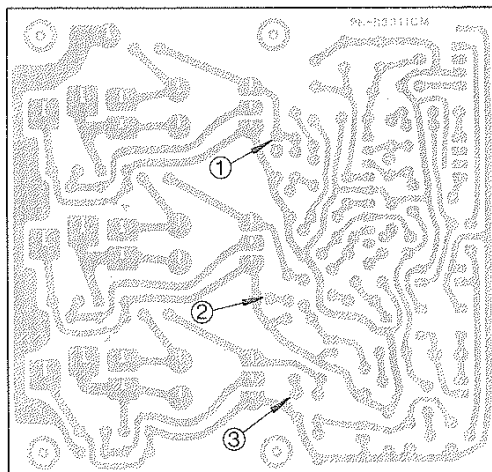


図10

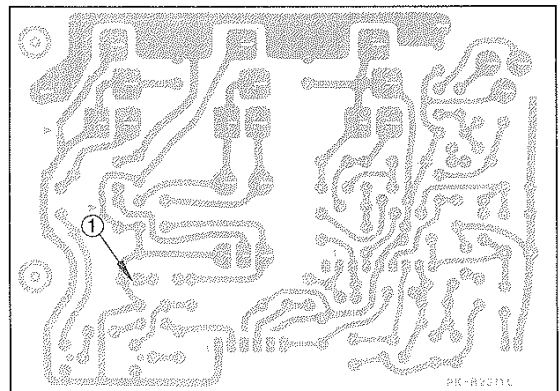
PK-R2311CM 3箇所



- ①チャイム
- ②ライン4
- ③ライン5

図11

PK-R2311L 1箇所

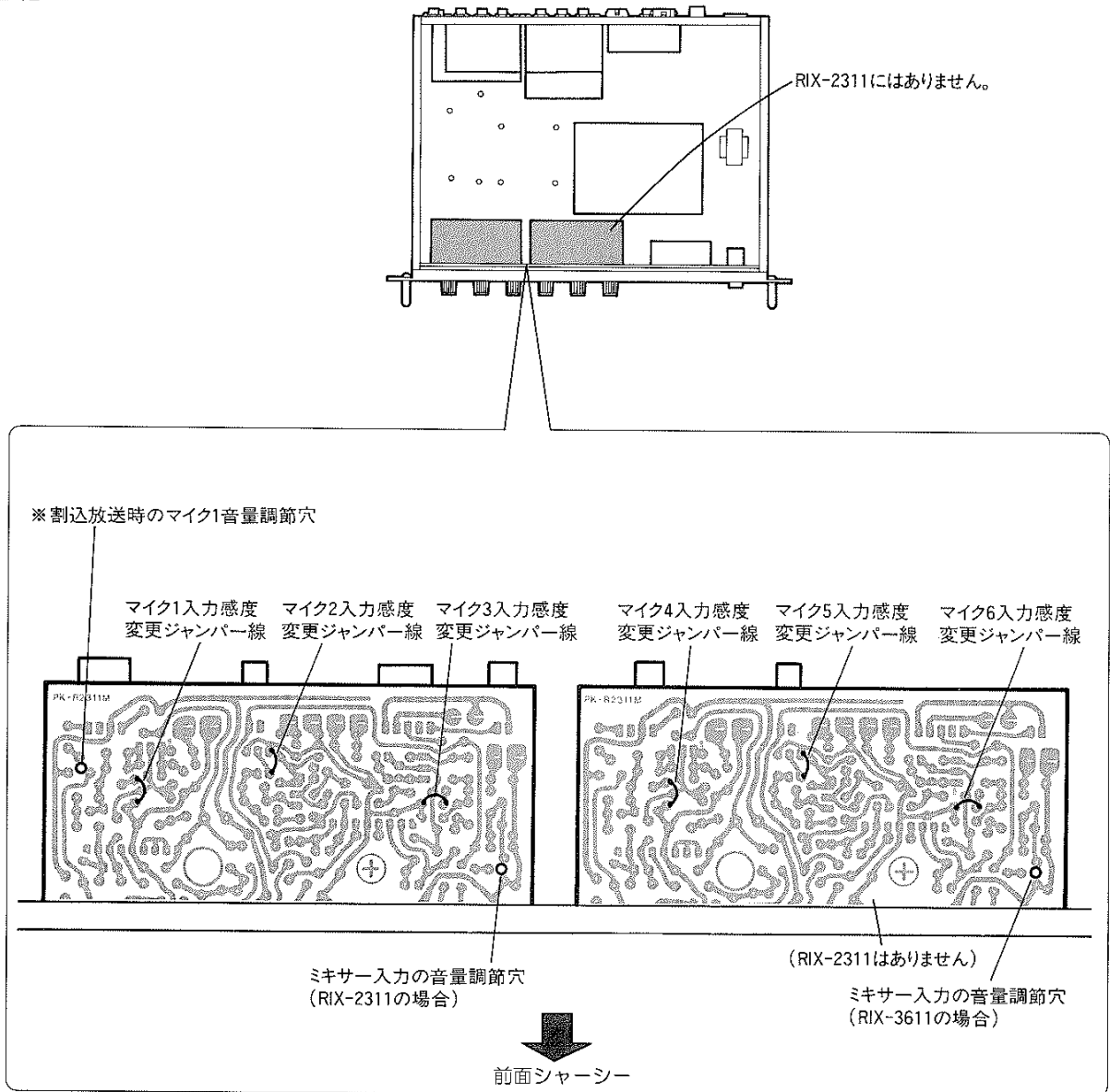


①ライン3

RIX-3611のマイク1~6 RIX-2311のマイク1~3 の入力感度の変更のしかた

- ご使用になるマイクロホンや設置場所等の関係でマイクの入力感度を下げたいときは図12のようにジャンパー線を切断してください。(約-72dBV→約-62dBV)
- ※割込放送時のみ、マイク1の通常の音量調節器は使用できませんので図12の半固定音量調節器で調節してください。
- ミキサー入力の音量調節のしかた
図12の半固定音量調節器で調整してください。(それぞれの半固定音量調節器は出荷時には音量は最大に設定されており、調節は半固定音量調節穴に小さい⊖ドライバーを差し込み、左まわして音量を下げるように調節してください。)

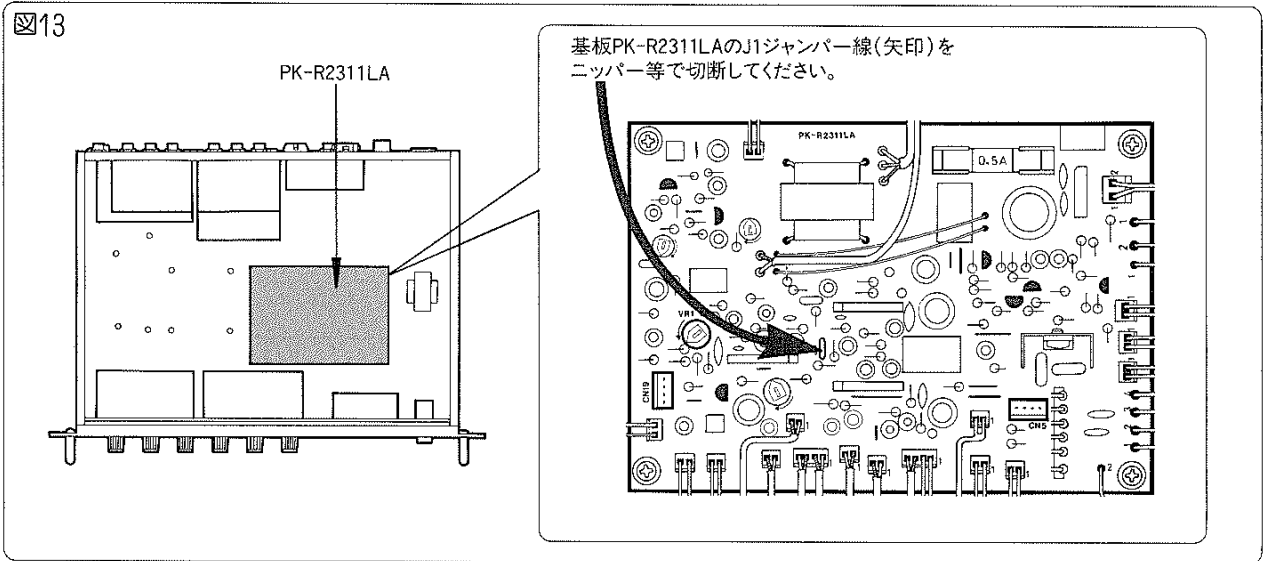
図12



録音出力レベルの変更のしかた

RIX-3611の[JP16]録音出力ジャック及びRIX-2311の[JP12]録音出力ジャックは出荷時のレベルは0dBVに設定しておりますが、約-10dBVに変更することができます。(図13参照)

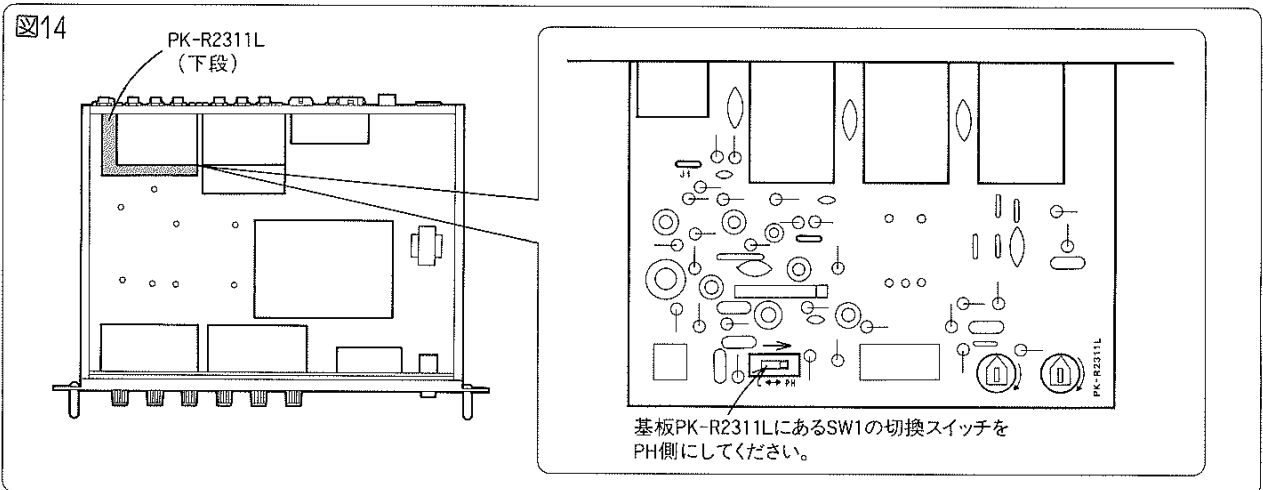
図13



ライン1入力をレコード入力に変更のしかた

ライン1のピンジャックは出荷時のレベルは約-22dBVに設定されておりますがステレオレコードプレーヤー等を接続される場合は内部スイッチの切換でレベルを約-55dBVに変更することができます。(図14参照)

図14



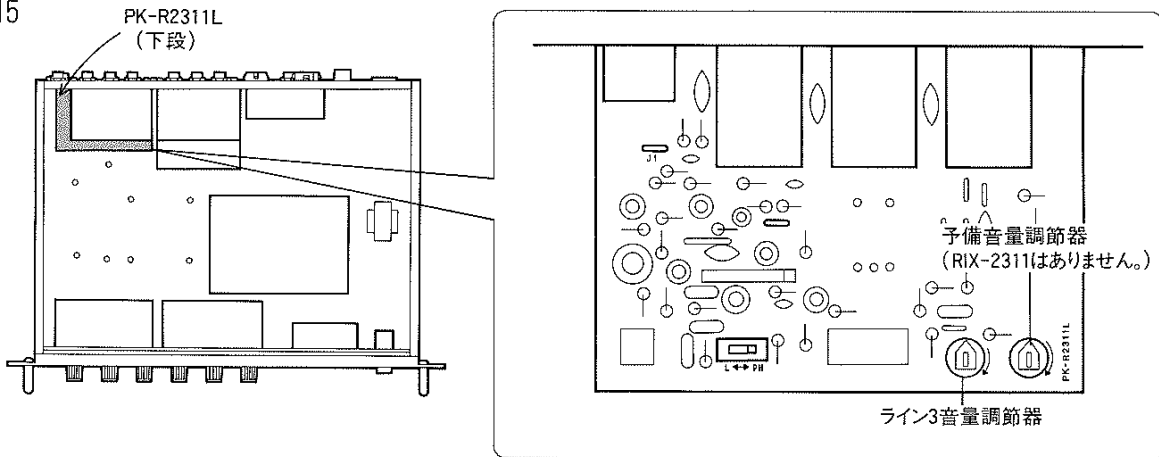
各半固定音量調節のしかた

各基板の半固定音量調節器は、基板矢印の方向いっぱい(最大音量)に設定されております。音量を下げる場合は矢印反対方向にまわして調節してください。本機をラックに設置後でも本機を手前に引き出すだけで容易に調節ができます。(図15、16参照)

(ミキサー入力の半固定音量調節と割込放送時のマイク1の半固定音量調節のしかたは10ページのマイク入力感度の変更のしかたの基板パターン図の項をご覧ください。)

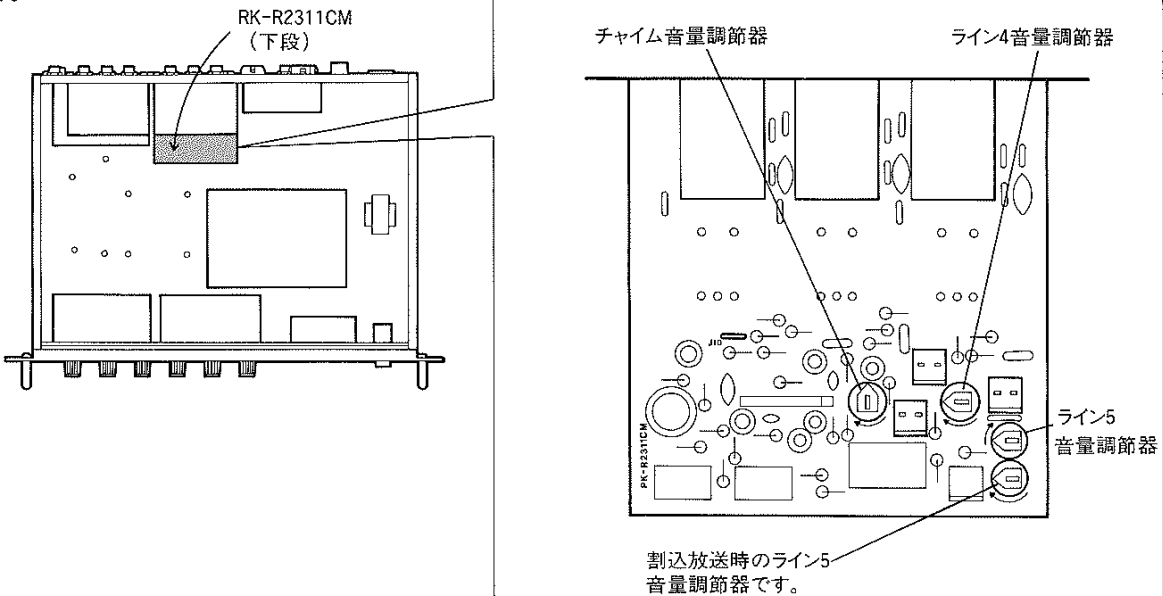
基板PK-R2311L

図15



基板PK-R2311CM

図16

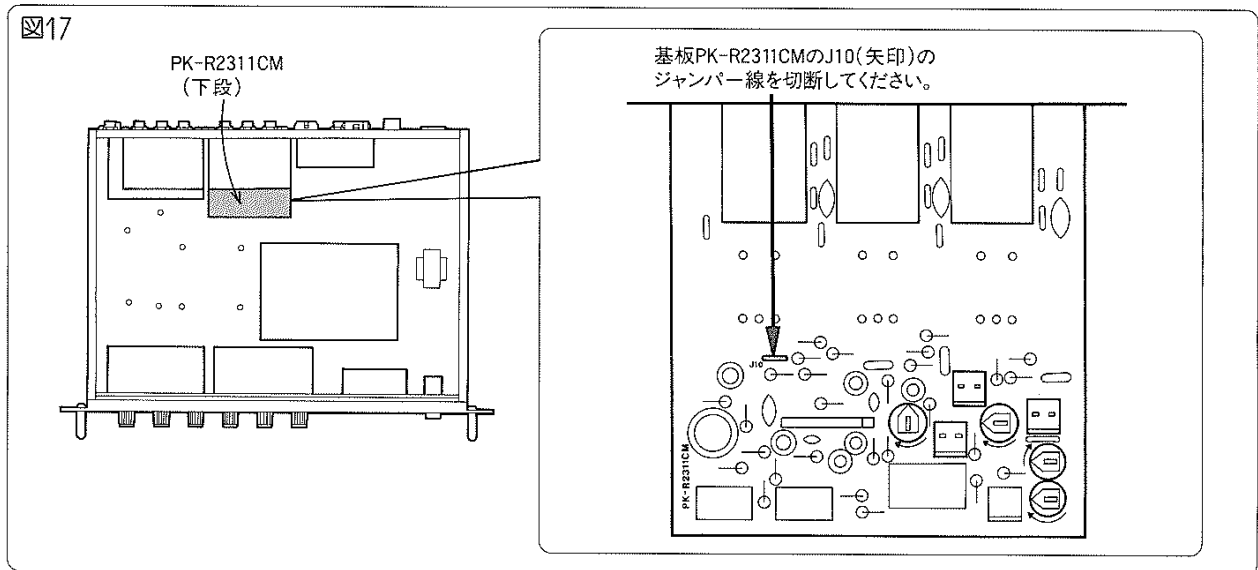


減衰回路使用のしかた

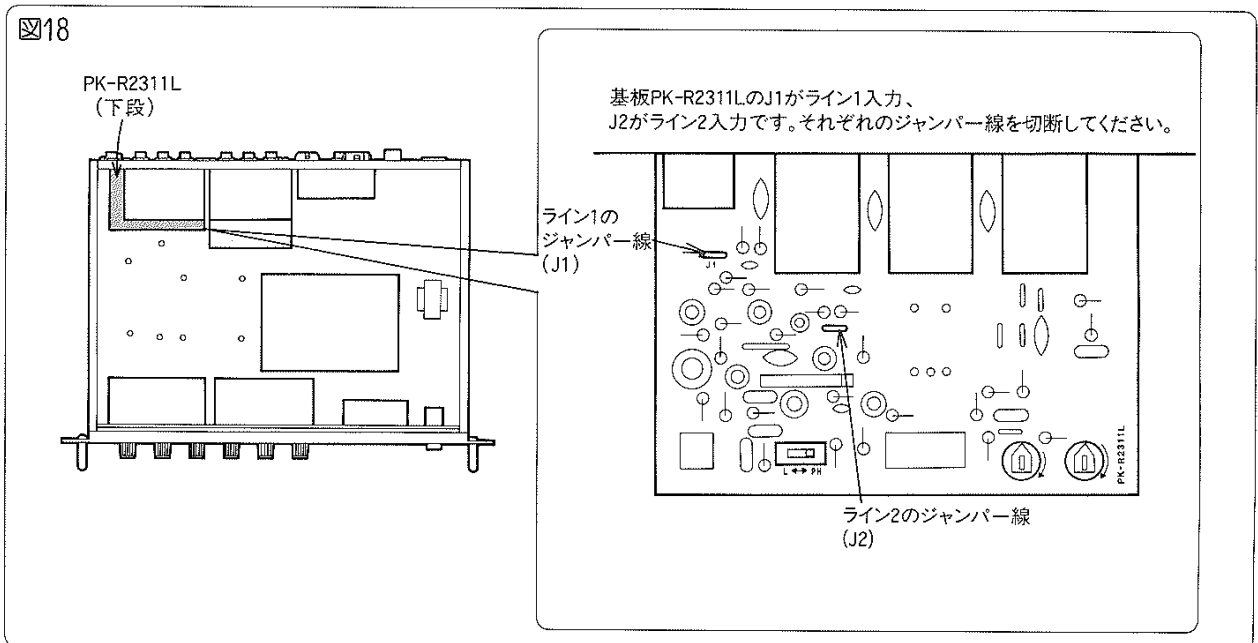
本機のチャイム入力、ライン1入力及びライン2入力には、入力感度を下げるための減衰回路が組込まれています。接続された機器の出力レベルにより、入力感度を下げたいときは、図17、18のようにジャンパー線を切断してください。ジャンパー線を切断することにより、各入力感度は次のようになります。

※チャイム	約-32dBV → 約-12dBV
ライン1	約-22dBV → 約-10dBV
ライン2	約-22dBV → 約- 2dBV

※チャイム入力の場合



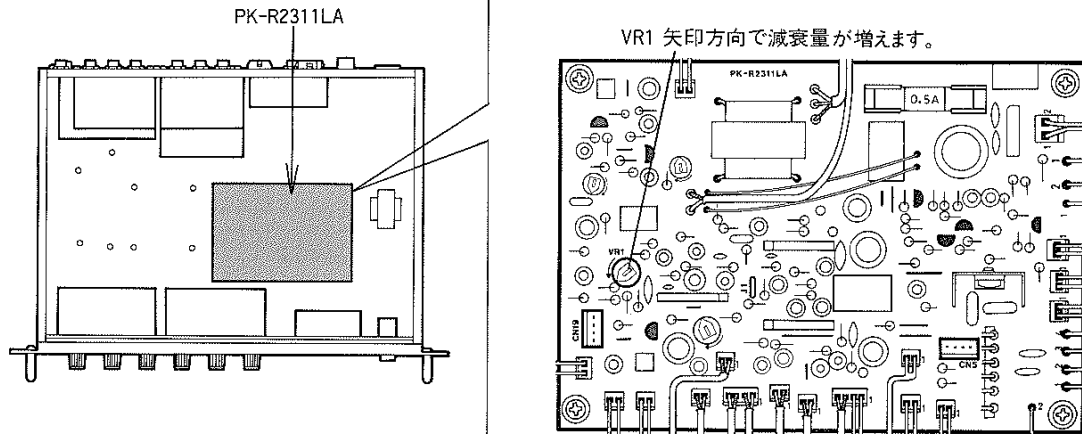
ライン1及びライン2の場合



オートフェーダーの調整のしかた

ライン1、ライン2、ライン3入力は、他の信号が入ると自動的に音量が減衰します。(RIX-3611は予備入力も含まれます。)出荷時は約26dBに減衰するように調整済ですが、好みの減衰量に調整される場合は基板PK-2311LAのVR1の半固定音量調整器で調整してください。(図19参照)

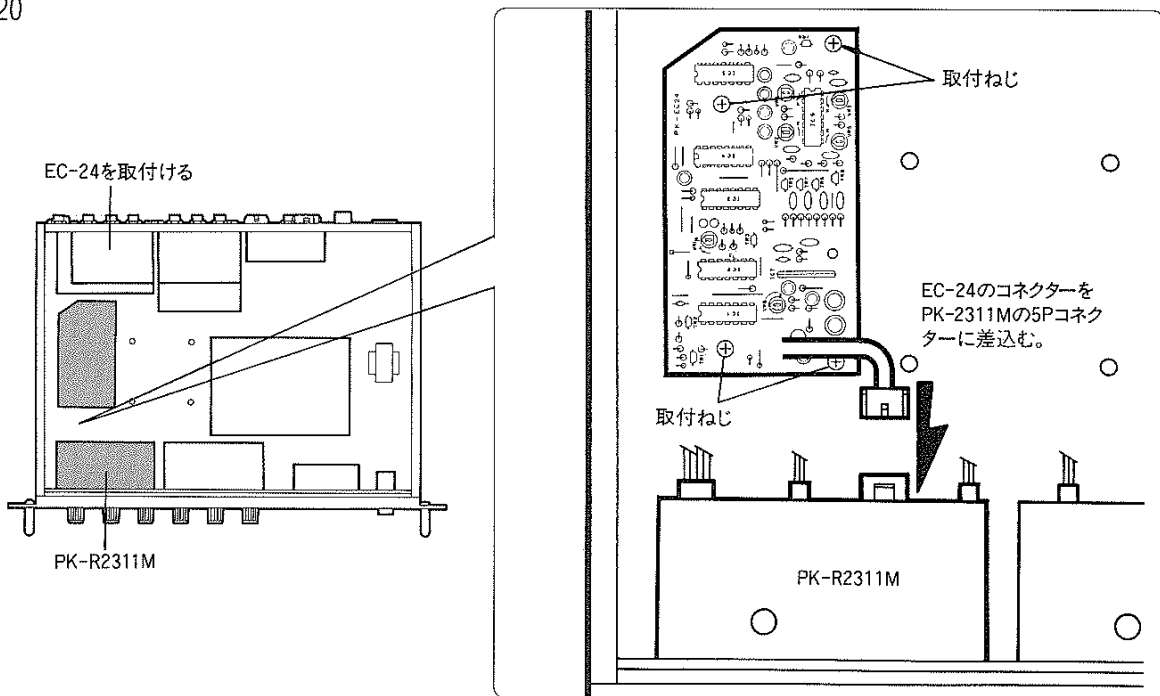
図19



エレクトロチャイムEC-24の取付かた

- 図20の位置にEC-24を本機の底シャーシに取付けてください。ねじは取付済のものをお使いください。
- EC-24のコネクターを基板PK-R2311Mの5Pコネクターに差し込んでください。(図20参照)
- 前面/パネルのチャイム部のふたを取り除き、EC-24付属のスイッチボタンを押込んでください。ボタンの上に付属のチャイム表示シールを貼ってください。

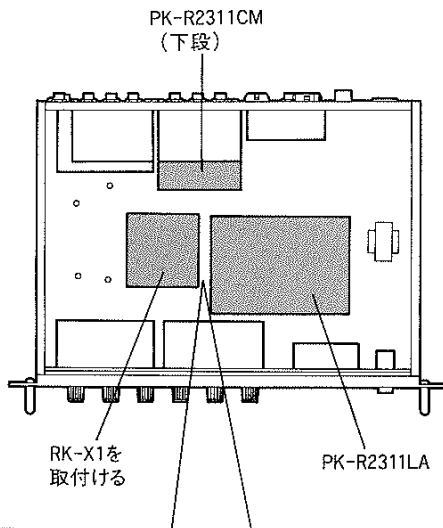
図20



ミキサー制御基板 PK-X1の取付かた

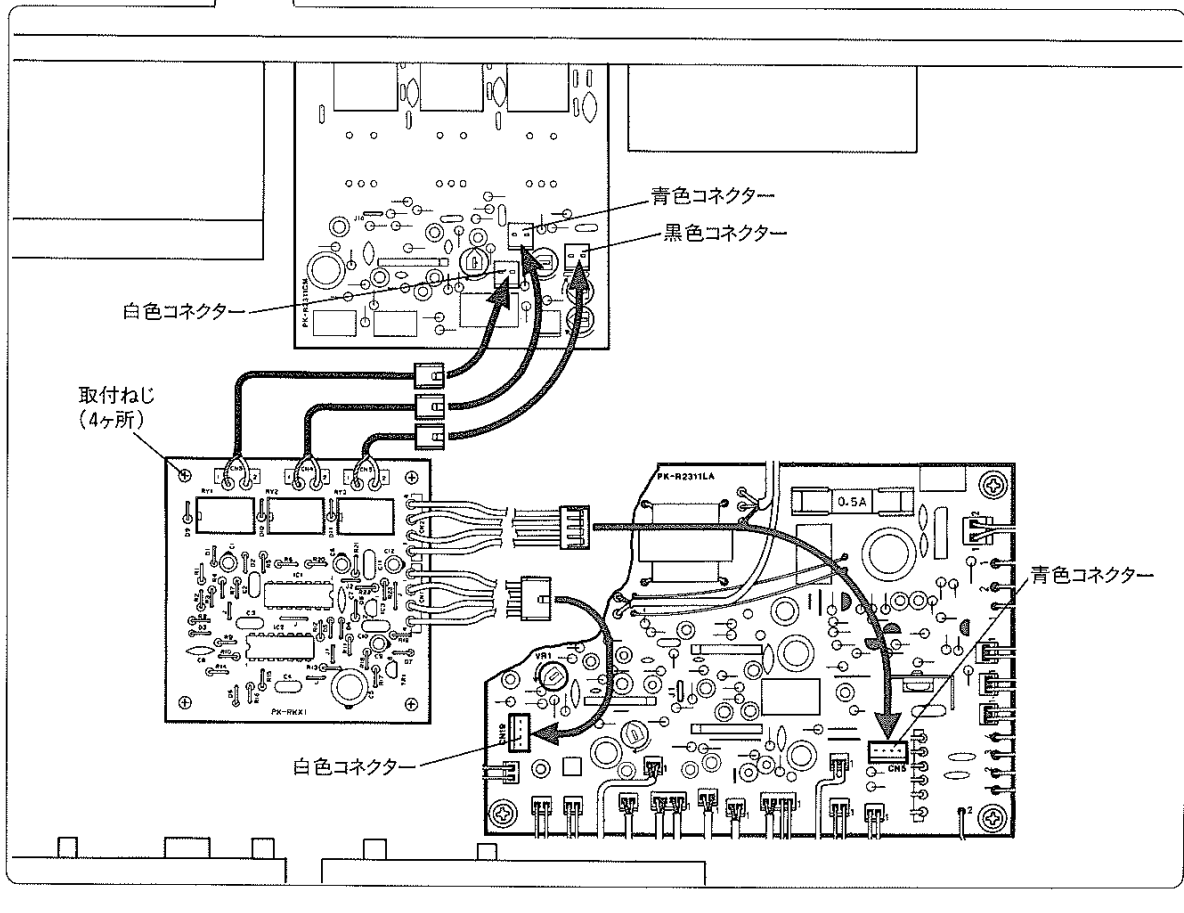
- ①図21のようにRK-X1付属のねじでミキサーユニットに取付けてください。
- ②RK-X1の2Pコネクタ-3個はミキサーユニット基板PK-R2311CMのそれぞれの2Pコネクタ-に合せてください。必ず同じ色のコネクタ-に合せてください。
- ③RK-X1の4Pコネクタ-2個はミキサーユニット基板PK-R2311LAのそれぞれの4Pコネクタ-に差込んでください。必ず同じ色のコネクタ-に合せてください。

図21



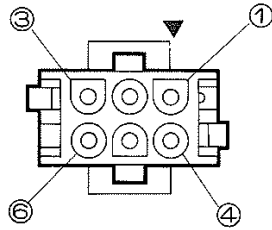
注) RK-X1を取付けるときは必ず図の方向どおりに取付けてください。逆に取付けますと、それぞれのコネクタ-のコードがとどきません。

●RK-X1の取扱説明書も合せてご覧ください。



各コネクターのピン番号と機能

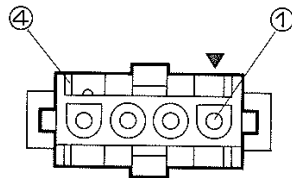
【JC1】 抜け止め付き圧着コネクタ



【JC1】

ピン番号	機能
①	接続なし
②	ライン 5 制御
③	ライン 4 制御
④	チャイム制御
⑤	割込制御
⑥	電源スイッチ ON

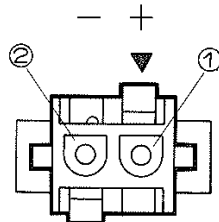
【JC2】 抜け止め付き圧着コネクタ



【JC2】

ピン番号	機能
①	電源起動
②	制御用電源 +B
③	制御 COM
④	アース

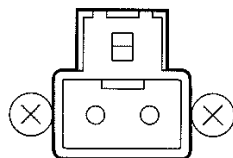
【JC3】 抜け止め付き圧着コネクタ



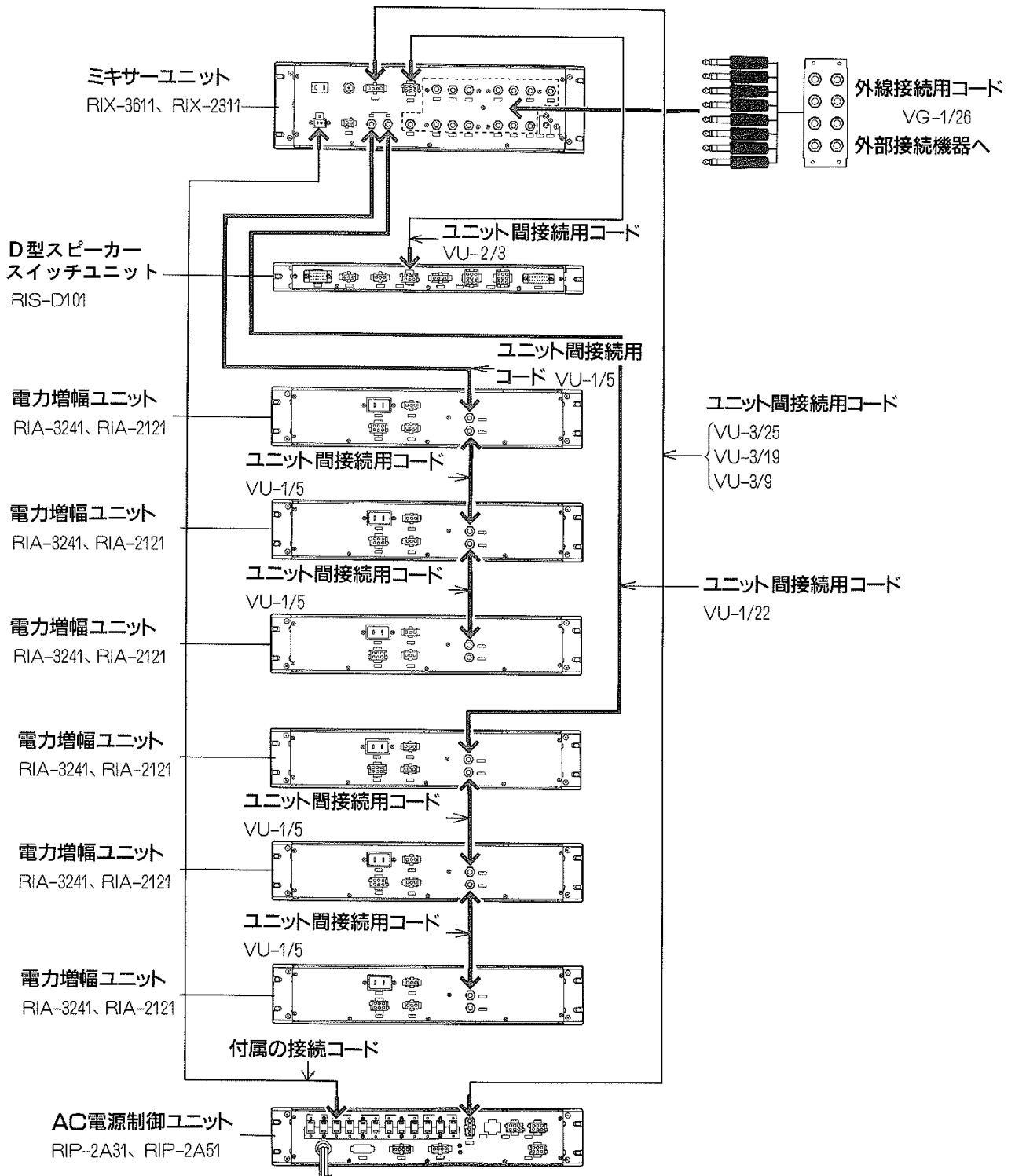
【JC3】

ピン番号	機能
①	直流電源入力 24V +
②	直流電源入力 -

【JC4】 AC電源 100V入力

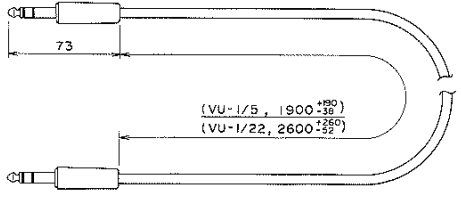
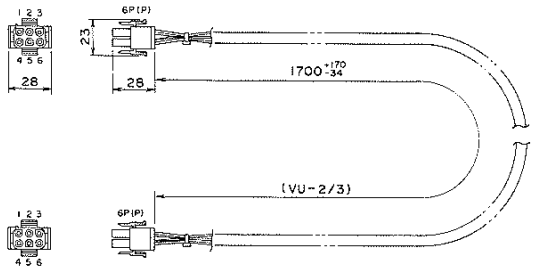
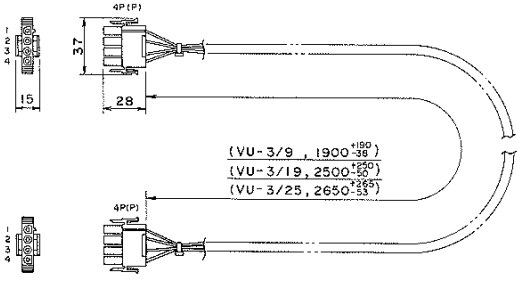
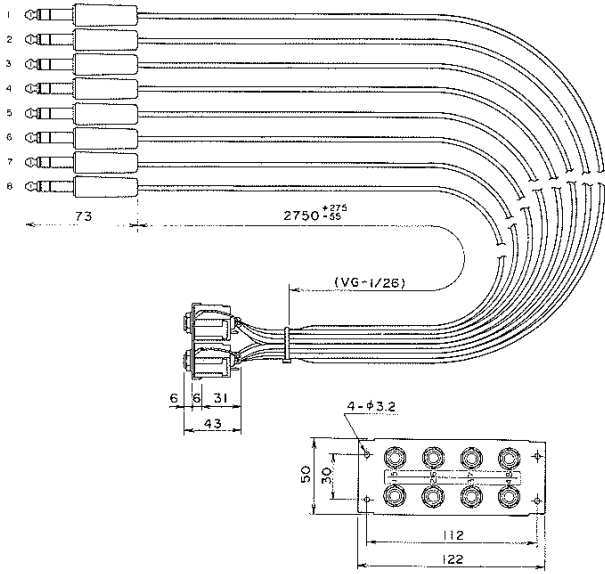


電力増幅ユニット・AC電源制御ユニット・D型スピーカースイッチユニットとの接続図(例)



別売接続コードの説明

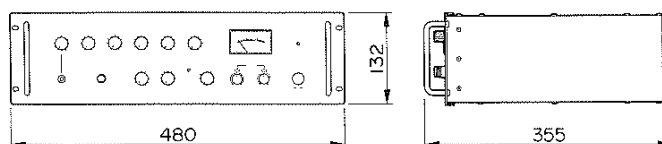
コードの品番の最後の数字(/ 以降の数字)は、接続されるユニット間の最大間隔をユニット数で表わしております
 例) VU-3/25は25U離してユニットを取り付けられる事をいいます。ただし、配線の方法によりユニット間の間隔が変わりますので目安としてご使用ください。

ユニット間接続用コード	ユニット間接続用コード
<p data-bbox="215 421 470 454">VU-1/5・VU-1/22</p>  <p data-bbox="454 638 614 683">(VU-1/5, 190⁺¹⁹⁰₋₃₉) (VU-1/22, 260⁺²⁶⁰₋₅₂)</p>	<p data-bbox="845 421 957 454">VU-2/3</p>  <p data-bbox="1141 672 1220 705">(VU-2/3)</p>
ユニット間接続用コード	外線接続用コード
<p data-bbox="215 891 614 925">VU-3/9・VU-3/19・VU-3/25</p>  <p data-bbox="454 1142 614 1187">(VU-3/9, 190⁺¹⁹⁰₋₃₆) (VU-3/19, 250⁺²⁵⁰₋₅₀) (VU-3/25, 265⁺²⁶⁵₋₅₅)</p>	<p data-bbox="845 891 957 925">VG-1/26</p>  <p data-bbox="1141 1232 1220 1265">(VG-1/26)</p>

RIX-3611 定格

使用電源及び消費電力	AC100V 50/60Hz 6VA DC24V (⊖アース基準) 0.1A
出力及び負荷インピーダンス	定格 0dB 最大+10dBV 並列2回路 600Ω 平衡 (2回路合計)
録音出力及び負荷インピーダンス	0dBV 600Ω, 不平衡 (-10dBVに変更可) (チャイム、ライン4・5及び割込放送を除く)
ひずみ率	0.5%
周波数特性	50Hz~15kHz 偏差±2dB (定格出力時) (割込放送時を除く) (割込放送時 100Hz~10kHz 偏差±3dB 定格出力時)
音質調節	低音100Hz±10dB (1kHz基準) 調節器付 (チャイム、ライン4・5及び割込放送時の) 高音10kHz±10dB (1kHz基準) 調節器付 (マイク1を除く)
音量調節	主音量調節器付 (チャイム、ライン4・5及び割込放送時のマイク1を除く)
入力感度及びインピーダンス	マイク1~6:約-72dBV 600Ω 不平衡 音量調節器付 平衡トランス取付可 ライン1:約-22dBV 50kΩ 不平衡 音量調節器付 (内部スイッチによりレコードに変更可 約-55dBV 50kΩ) ライン2:約-22dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付 ライン3:約-22dBV 10kΩ 不平衡 半固定音量調節器付 平衡トランス(600Ω) 取付可 ライン4・5:約-22dBV 10kΩ 不平衡 半固定音量調節器付 平衡トランス(600Ω) 取付可 チャイム:約-32dBV 10kΩ 不平衡 半固定音量調節器付 平衡トランス(600Ω) 取付可 予備:約-22dBV 10kΩ 不平衡 半固定音量調節器付 ミキサー:約-2dBV 600Ω 平衡 半固定音量調節器付
信号対雑音比	マイク1~6 55dB、その他の入力 65dB (ライン1のレコード使用時を除く)
制御用ユニット間接続器	スピーカースイッチユニット用 1、電源制御ユニット用 1
動作表示	電源表示灯 (発光ダイオード) 緑 クリップ表示灯 (発光ダイオード) 赤 (チャイム、ライン4・5及び割込放送を除く) 出力表示 出力計による (VUSケール) (出荷時は0.7V出力にて0VUに調整)
付帯機能	①電源スイッチにより、ラック組込みの電源制御ユニットの電源起動が可能 (ミキサーユニット単体の電源入切は不可) ②マイク1入力ジャックは、パネル面と後面の2ヶ所にあり、パネル面が優先 ③ライン1、ライン2、ライン3、予備はその他の入力信号 (オプションのチャイムを含む)により、自動的に音量が減衰。減衰量 約26dB (出荷時調整済) ④割込制御信号により、マイク1、ライン5のみ割込放送可能となる。音量は通常の音量調節器に関係なく、別に設定 (半固定音量調節器付) このとき音質調節は不可 ⑤マイク1~6の入力感度を-62dBVに変更可能 ⑥チャイム、ライン1、ライン2の入力において信号を減衰可能 減衰量 チャイム 約20dB/ライン1 約12dB/ライン2 約20dB
使用温度範囲	-10℃ ~ +50℃
使用半導体	IC 13、トランジスタ 13、ダイオード 20、ブリッジダイオード 1、ゼナーダイオード 1、発光ダイオード 2、フォトカプラ 1
外装	パネル (鋼板) 塗装仕上げ マンセルN4.5 近似色 グレー ケース (メッキ鋼板)
寸法	幅 480mm 高さ 132mm 奥行 355mm (EIAサイズ 3U)
質量	約6kg
付属品	M5×15半丸皿ねじ 4、φ5飾りワッシャー 4、M5×16セムスボルト 4、 M5スライドナット 4、機器受金具 2、ヒューズ(0.5A) 1、AC電源コード 1、 保証書 1、取扱説明書 1
付加機能	①4音チャイムユニット EC-24 組込可能 ②ミキサー制御基板 RK-X1 組込可能
特徴・用途	本機は電力増幅ユニットを最大12台接続することができ、録音レベルの変更も可能です。本機のチャイム、ライン4・5の入力信号は制御信号入力時のみ出力されます。ミキサー制御基板RK-X1を組込むことにより、本機のチャイム、ライン4、ライン5の入力信号回路においてそれぞれ別々に使用時のみ出力し、使用しないときは遮断します。またチャイム使用時にはライン1~3、予備の信号を本機のオートフェードのセッティングに無関係で約30dB以上減衰させ、チャイム音終了後、約5秒でオートフェードを解除します。

RIX-3611外観寸法図
(単位 mm)

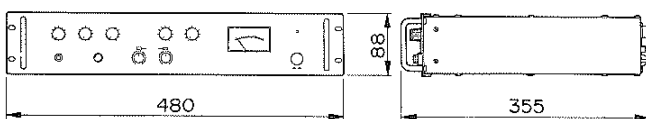


RIX-2311 定格

使用電源及び消費電力	AC100V 50/60Hz DC24V (⊖アース基準) 0.1A
出力及び負荷インピーダンス	定格 0dBV 最大+10dBV 並列2回路 600Ω 平衡 (2回路合計)
録音出力及び負荷インピーダンス	0dBV 600Ω 不平衡 (−10dBVに変更可)(チャイム、ライン4・5及び割込放送を除く)
ひずみ率	0.5%
周波数特性	50Hz〜15kHz 偏差±2dB (定格出力時) (割込放送時を除く) (割込放送時 100Hz〜10kHz 偏差±3dB 定格出力時)
音質調節	低音100Hz±10dB (1kHz基準) 調節器付 (チャイム、ライン4・5及び割込放送時の) 高音10kHz±10dB (1kHz基準) 調節器付 (マイク1を除く)
入力感度及びインピーダンス	マイク1〜3: 約−72dBV 600Ω 不平衡 音量調節器付 平衡トランス取付可 ライン1: 約−22dBV 50kΩ 不平衡 音量調節器付 (内部スイッチによりレコードに変更可 約−55dBV 50kΩ) ライン2: 約−22dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付 ライン3: 約−22dBV 10kΩ 不平衡 半固定音量調節器付 平衡トランス(600Ω) 取付可 ライン4・5: 約−22dBV 10kΩ 不平衡 半固定音量調節器付 平衡トランス(600Ω) 取付可 チャイム: 約−32dBV 10kΩ 不平衡 半固定音量調節器付 平衡トランス(600Ω) 取付可 ミキサー: 約−2dBV 600Ω 平衡 半固定音量調節器付
信号対雑音比	マイク1〜3 55dB、その他の入力 65dB (ライン1のレコード使用時を除く)
制御用ユニット間接続器	スピーカースイッチユニット用 1、電源制御ユニット用 1
動作表示	電源表示灯 (発光ダイオード) 緑 出力表示 出力計による (VUスケール) (出荷時は0.7V出力にて0VUに調整)
付帯機能	①電源スイッチにより、ラック組込みの電源制御ユニットの電源起動が可能 (ミキサーユニット単体の電源入切は不可) ②マイク1入力ジャックは、パネル面と後面の2ヵ所があり、パネル面が優先 ③ライン1、ライン2、ライン3はその他の入力信号 (オプションのチャイムを含む) により、自動的に音量が減衰 減衰量 約26dB (出荷時調整済) ④割込制御信号により、マイク1、ライン5のみ割込放送可能となる。 音量は通常の音量調節器に関係なく、別に設定(半固定音量調節器付)このときの音質調節は不可 ⑤マイク1〜3の入力感度を−62dBVに変更可能 ⑥チャイム、ライン1、ライン2の入力において信号を減衰可能 減衰量 チャイム 約20dB/ライン1 約12dB/ライン2 約20dB
使用温度範囲	−10℃ ~ +50℃
使用半導体	IC 11、トランジスタ 9、ダイオード 19、ブリッジダイオード 1、 ゼナーダイオード 1、発光ダイオード 1、フォトカプラ 1
外装	パネル (鋼板) 塗装仕上げ マンセルN4.5 近似色 グレー ケース (メッキ鋼板)
寸法	幅 480mm 高さ 88mm 奥行 355mm (EIAサイズ 2U)
質量	約5kg
付属品	M5×15半丸皿ねじ 4、φ5飾りワッシャー 4、M5×16セムスポルト 4、M5スライドナット 4、 機器受金具 2、ヒューズ(0.5A) 1、AC電源コード 1、保証書 1、取扱説明書 1
付加機能	①4音チャイムユニット EC-24 組込可能 ②ミキサー制御基板 RK-X1組込可能
特徴・用途	本機は電力増幅ユニットを最大12台接続することができ、録音レベルの変更も可能です。本機のチャイム、 ライン4・5の入力信号は制御信号入力時のみ出力されます。ミキサーの制御基板RK-X1を組込むことにより、 本機のチャイム、ライン4、ライン5の入力信号回路においてそれぞれ別々に使用時のみ出力し、使用しないときは 遮断します。またチャイム使用時にはライン1〜3のオートフェードのセッティングに無関係で約30dB以上減 衰させ、チャイム音終了後、約5秒でオートフェードを解除します。

RIX-2311外観寸法図

(単位 mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペック株式会社

RKTRIX3611